

文教厚生委員会視察研修報告

平成30年10月30日(火)～11月1日(木)

【香川県小豆郡 小豆島町役場】

小豆島町役場

南島原市でも少子化が進む中、本委員会としても、少子化対策に先駆的取り組みを行っている、小豆島町を訪問し研修を行った。

小豆島町では、町独自で「小豆島町すくすく子育て応援アクションプラン」を策定し、未来を担う子どもたちが、健やかに育つことを目的とした取り組みを実践している。

小豆島町すくすく子育て応援アクションプランの取り組みについて

(小豆島の宝物を守るとともに、未来を担う子どもたちが健やかに育つことを目的とし、平成27年3月に、町独自で子育ての計画を策定)

プランは5カ年計画

すくすく子育て応援アクションプランの実践

(1) 小豆島の魅力アップ

- ・園外保育による自然体験
- ・芸術体験

(2) 男女共同参画の実現

- ・父母祖父母の育児啓発
- ・地場産業の強化

(3) 地域による応援

- ・出合いの輪を創出
- ・多世代交流を促進

小豆つこ誕生プロジェクト事業

子どもの誕生に感謝し、未来を応援したい思いから、へその尾など大切な品を収納できる木箱と、小豆島の魅力を伝えるカードを贈呈。(贈呈者数77人)

多世代交流・多機能施設整備事業

子どもから大人、高齢者、障がい者など、地域や世代を問わず全ての人が集える場所づくり。他世代と一緒に集める

のが課題。利用者911人(平成28年度と比較し126人増)

学校支援ボランティア等による地域・世代交流事業

小・中学校において、地域の人が読み聞かせや伝統文化の継承、部活動の指導、農業体験などを提供。(登録者249人)登録者の減少が課題

ブックスタート事業(28年度から実施)

赤ちゃんと保護者に絵本を渡し、絵本を介して親子の愛情が育まれる。(贈呈者数73人)

(4) 子育ての環境づくり

- ・若い世代の負担軽減
- ・ふるさと教育の推進



多世代交流・多機能型施設「遊児老館」

(5) 働きやすい職場・やりがいのある仕事の創出

- ・産業支援事業
- ・起業家の移住・定住を促進

29年度移住者数

Uターン 100名

Iターン 192名

(香川県下で1位)

説明を受けた後、質疑、応答を行った。

課題

アクションプランの5つの柱それぞれで取り組んでいかないと、最終的な目標である少子高齢化、人口減少の解消は無理だろう。

それをプラスに持っていていくのは、不可能だと思っっている。下降線をどれだけ緩やかにするかというのを、どういう施策でやっていくかということだと思う。

ここに挙げた5つについては、直接、子育てには関係ないんじゃないかと思われるけども、一つひとつ、やっていくことが最終的には子育てしやす

すい。あるいは子どもが帰ってくるという方向性を生んでいくものと思っている。



小豆島町役場研修風景

【福岡県大牟田市 宮原抗】

(世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産)

・三池炭鉱

「明治日本の産業革命遺産」は、平成27年7月に世界遺産に登録。日本が西洋以外で初めて、短期間のうちに近代工業化を果たし、飛躍的な発展を遂げたことを示



宮原抗視察風景

す遺産群である。
●宮原抗
我が国で現存する最古の鋼鉄槽で、当時最大級のイギリス製デビーポンプを備え、湧水対策に対処した。昭和6年の閉坑まで、三池収集監から囚人労働が行われた。明治31年開坑当時年間27万トンの出炭量を誇り、大正期には51万トンを超え、三池炭鉱全体の20%を超えていた。昭和初期の恐慌、不況下において、四山抗等の開坑により閉坑した。